



おやま子育て通信

2月号

小山町次世代育成支援連絡協議会 編集：小山町教育委員会 こども育成課
TEL：76-6126 FAX：76-2795 平成26年1月15日 No.46

1	土	
2	日	
3	月	総合文化会館休館日
4	火	ぺんぎんランド（すがめま保育園）
5	水	ぺんぎんランド（きたごう保育園）
6	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
7	金	わくわくランド（各幼稚園）
8	土	
9	日	
10	月	総合文化会館休館日
11	火	
12	水	ぺんぎんランド（すばしり保育園）
13	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	総合文化会館休館日
18	火	ぺんぎんランド（いきど保育園）
19	水	ぺんぎんランド（きたごう保育園）
20	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	総合文化会館休館日
25	火	ぺんぎんランド（すがめま保育園）
26	水	ぺんぎんランド（すばしり保育園）
27	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
28	金	



子育て家族を応援します

しずおか子育て優待カード

18歳未満の子どもをお持ちの「子育て家庭」と妊娠中の方に、しずおか子育て優待カードを配付しています。

このカードを、お買物や飲食などの際に、県内の協賛店舗で提示すると、お店が独自に定めた割引などの特典・優待を受けることができます。（保護者と子供の同伴が条件です。）

カードは、住民福祉課・健康課・こども育成課・各支所で配布しています。

協賛店舗などは県のホームページで御確認ください。

パソコン <http://shoushika.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話 <http://www.pref.shizuoka.jp/m/>

御相談を受け付けています。

こども相談室「なのhana」

子どもの成長の道りには、その子ならではのペースと特徴があります。そのことをわかっているつもりでも、生活習慣、しつけ、発育、学習、人間関係、進路など、子育ての悩みは尽きないものです。

何となく気になることを抱えながら、子育てに奮闘している保護者の方も多いのではないのでしょうか。

教育委員会では、教育経験豊かな相談員が、一人ひとりのケースごとに丁寧に対応します。専門機関と連携し、必要に応じて紹介することもできますので、安心して御相談ください。まずは、下記の専用ダイヤルに御連絡ください。

専用携帯電話ダイヤル

090-5615-1976



★ 開始時間 ★

わくわくランド（幼稚園）、ぺんぎんランド（保育園）
ぺんぎんランド（総合文化会館） 9：30～11：30

10：00～11：00

さらに詳しいお問合わせは、各園・生涯学習課へ



節分で家族間のコミュニケーション

2月は「節分」の行事があります。「鬼は外、福は内」と声を出しながら、お面をかぶった「鬼」に豆をぶつけて、玄関から家の外へ。邪気をはらい福を呼び込むそうです。豆を自分の歳の数だけ食べると、1年間は無病息災で過ごせると言われていています。このような行事の際にぜひ、子どもとのコミュニケーションをはかりましょう。日本の伝統や風習を通じて感性を養いたいものですね。



のどの風邪に注意して！

咽喉炎は、いわゆる「のどの風邪」大人はかかっても、それ程ひどくなりませんが、0、1歳児の場合は、のどの痛みで水分がとれなくなる事も。疲れがたまると悪化するケースも少なくありません。コホコホ、ケホケホしていたら、軽く見ず受診しましょう。

咳が止まらない時は！

ひどく咳きこんでいる時は、縦抱きにするのが、ポイントです。しっかり前かがみに体を傾けさせて。自分でたんを吐き出せない時は、背中を下から上に軽くたたいたり、さすったりすると、たんが切れやすくなります。又乾燥も大敵。加湿器を使ったり、濡れタオルを干したりして上手に加湿しましょう。

のどが痛む時のお勧めは？

のどがはれて赤くなっている時は、のどにしみる物は避け、食べられる物をたべられるだけでOKです。水分補給だけは忘れずに！



家庭で出来る予防法

この時期、インフルエンザ、ウィルス性胃腸炎、RSウイルス感染症など、様々な病気の流行が予想されます。日頃の予防を心掛けましょう！

うがいと手洗いを習慣にしましょう！

室内の温度、湿度をチェックしましょう
室温→16℃～18℃
湿度→60%前後

外出時にはマスクを感染予防にもなりますが、ウィルスをまき散らさない事が大きな効果です